

第3回 富山県立大学看護系大学院等設置検討委員会

○日時 令和2年12月18日(金)13:30～14:30

○場所 富山県立大学富山キャンパス教授会室

1 開 会

2 議 題

(1) 富山県立大学における看護系大学院・専攻科（保健師養成課程、助産師養成課程）の教育課程、入学定員等の考え方について

(2) その他

3 閉 会

資 料

資料1 富山県立大学看護系大学院等設置検討委員会の検討経過概要

資料2 大学院（修士課程）・専攻科（保健師、助産師養成課程）の教育課程、入学定員等の考え方について

資料3 今後のスケジュール

富山県立大学看護系大学院等設置検討委員会の検討経過概要

1 富山県立大学における看護系大学院の設置に係る現状と課題（第1回）

【富山県看護系高等教育機関整備検討委員会の提言（H27.8）】

全国的な流れや専門看護師等のより高度な人材の供給を踏まえ、将来的に大学院（修士課程）を設置

○医療現場のニーズ

<令和2年1月28日 3団体（医師会、公的病院長協議会、看護協会）要望書>

- 1 県立大学に大学院（修士課程）を設置すること
専門看護師などより高度な看護人材を育成するため、県立大学に看護系の大学院を設置すること。

<「大学院看護学研究科設置」に関するアンケート結果（R2.8 本学実施）>

- ・大学院の設置を希望する医療機関 72.6%（公的病院 95.8%）
- ・設置されれば大学院に職員を修学させたいとした医療機関 55.6%（公的病院 79.2%）
- ・修士看護師を採用したいとした医療機関 32.5%（公的病院 83.3%）

公的病院を中心に
大学院の設置ニーズが高い。

○学生のニーズ（「大学院への進学希望」看護学部新入生アンケート結果）

- ・R元 … 14名（本県6名、他県8名）（回答数：120名）
- ・R2 … 8名（〃5名、〃3名）（〃）

○公立の看護系大学の状況

未設置：富山県立大学、千葉県立保健医療大学、
名寄市立大学、公立小松大学（※R4 設置予定）

(1) 大学院（修士課程）の設置率 92%（46/50）

(2) 近県の状況

大学名	項目		入学定員		専門看護師教育課程
	修士	博士	修士	博士	
石川県立看護大学	○	○	15	3	がん、小児、老年、地域
福井県立大学	○	○	10		
新潟県立看護大学	○	○	15	3	がん、老年
岐阜県立看護大学	○	○	12	2	がん、慢性、小児
公立小松大学					
敦賀市立看護大学	○		8		
(参考) 富山大学	○	○	16	若干	がん、母性

<課題>

専門看護師等の高度な職業人を求める医療現場のニーズや、進学を希望する学生のニーズに
応える体制が未整備であり、全国的な流れを踏まえると大学院（修士課程）の設置が必要



○富山県立大学に看護系大学院を設置すべきとの方向性（第2回検討委員会了承意見）

専門的な知識を持ち、リーダーシップのある専門看護師など、より高度な看護人材を育成し、富山県医療の充実に資するため、**富山県立大学に大学院看護学研究科（修士課程）を設置すべきである。**

大学の教員確保など、**将来的に博士課程も考えた方がよいのではないか。**（第1回検討委員会意見）

2 富山県立大学における専攻科（保健師・助産師養成課程）の設置に係る現状と課題（第1回）

○富山県立大学看護学部（H31.4 開設）の教育課程

4年間で看護学をしっかり学ぶために、カリキュラムを看護師育成に特化

<参考 総合衛生学院（保健学科、助産学科）卒業生の5年間（H27～R元）の平均就業状況>
保健学科 10.8人（うち県内7.0人） 助産学科 11.6人（うち県内8.0人）

○医療現場等のニーズ

<令和2年1月28日 3団体（医師会、公的病院長協議会、看護協会）要望書>

- 2 県立大学において保健師及び助産師を育成すること
県立大学に大学専攻科を設置するなど、県内の保健師及び助産師の育成・確保を図ること。

<「専攻科（【保健師】育成課程：1年間）設置」に関するアンケート結果（R2.8 本学実施）>

- ・設置を希望する医療機関等 74.6%（公的病院 95.8%、市町村 93.3%）
 - ・今後10年間で、公的病院 29人、市町村 33人の採用希望がある。
- このほか、県のR3年度採用予定数 12名

公的病院、市町村（保健センター）を中心に保健師養成課程設置のニーズが高い。

<「専攻科（【助産師】育成課程：1年間設置）」に関するアンケート結果（R2.8 本学実施）>

- ・設置を希望する医療機関等 82.7%（公的病院 87.5%、助産院 全7院）
- ・今後10年間で、公的病院 222人の採用希望がある。

公的病院、助産院を中心に助産師養成課程設置のニーズが高い。

○学生のニーズ（「専攻科（保健師、助産師）への進学希望」看護学部新入生アンケート結果）

- ・R元 … 40名（本県21名、他県19名）（回答数：120名）
- ・R2 … 41名（〃29名、〃12名）（〃）

○近県の状況

大学名	項目	保健師			助産師		
		学部	専攻科	大学院	学部	専攻科	大学院
石川県立看護大学		○					○
福井県立大学		○					
新潟県立看護大学		○			○		
岐阜県立看護大学		○					
公立小松大学		○					
敦賀市立看護大学		○				○	
(参考) 富山大学		○			○		

<課題>

医療現場等では、保健師、助産師の高いニーズがあるが、これまで、本県の保健師、助産師の養成を担ってきた県立総合衛生学院が令和3年度末で廃止となるため、養成機能の継承が求められている。



○専攻科（保健師、助産師養成課程）を設置すべきとの方向性（第2回検討委員会了承意見）

富山県立大学に専攻科を設置し、総合衛生学院が担ってきた保健師・助産師の養成機能を継承すべきである。

大学院（修士課程）・専攻科（保健師、助産師養成課程）の教育課程、入学定員等の考え方について

1 大学院（修士課程）

専門的な知識を持ち、リーダーシップのある専門看護師など、より高度な看護人材を育成し、富山県医療の充実に資するため、**富山県立大学に大学院看護学研究科を設置するべきである。**

R2.10.19 第2回検討委員会了承意見

教育理念・目標

（第1回、第2回検討委員会等のご意見）

- ・探求心、リーダーシップがあり、看護部門の長となり得る人材の育成
- ・専門性が高く現場でリーダーシップが取れる看護師の育成
- ・看護のレベルアップや看護学の発展に寄与する研究者の育成
- ・看護学研究の拠点、研究者の育成

教育課程、入学資格

（第1回、第2回検討委員会等のご意見）

- ・意欲のある現役看護師（社会人）修学のための取組

- ・社会人枠の設定、夜間講義の実施、修業年限の延長、
- ・社会人修学生が実践現場で発見した研究課題を論文に結び付ける等の工夫

- ・高齢者、療養病床が多い、糖尿病死亡率が高いなど富山県の特徴や医療現場のニーズ、地域貢献、周囲の大学との競合を踏まえた専門看護師育成コースの設置

⇒ 専門看護師育成コース：老年、慢性、地域・在宅

＜参考＞専門看護師の専攻教育課程

- | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|-------------|
| ①がん看護 | ②慢性看護 | ③母性看護 | ④小児看護 | ⑤老年看護 |
| ⑥精神看護 | ⑦家族看護 | ⑧感染看護 | ⑨地域看護 | ⑩クリティカルケア看護 |
| ⑪在宅看護 | ⑫遺伝看護 | ⑬災害看護 | ⑭放射線看護 | |

○富山県の現状等

「富山県医療計画」「富山県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会資料」「H26年度富山県認知症高齢者実態調査」

【高齢化率】

2016（平成28）年の本県の人口に占める65歳以上の高齢者の比率は31.1%で、全国の27.3%よりも3.8ポイント高くなっており、全国を上回って高齢化が進んでいる。

【病床数（人口10万対）】

一般病床：【全国】702.3床 【富山県】785.9床

療養病床：【全国】258.5床 【富山県】479.5床

【介護保険施設（65歳以上人口10万対）】

介護老人保健施設：【全国】1,071床 【富山県】1,354床

指定介護療養型医療施設：【全国】171床 【富山県】547床

【認知症高齢者の増加】

2015（H27）年：【全国】525万人 【富山県】4.8万人（推計値）

2025（R7）年：【全国】730万人 【富山県】6.7万人（ 〃 ）

○富山県の現状等

【専門看護師数】「富山県医療計画」

専門看護師数は2017（平29）年7月現在13人、人口10万人当たり1.23人（全国：1.47人）となっている。（中略）質の高い医療を提供するため、高度な技術と専門知識を持つ認定看護師や専門看護師、特定行為に係る看護師のさらなる増加が必要

【看護師・保健師・助産師の養成、確保：取組みの基本方向】「富山県総合計画」

がん、糖尿病をはじめとする生活習慣病など特定の分野における実践能力の高い看護師等を養成します。

【県内の専門看護師教育機関】

富山大学大学院：課程数2（がん看護（46単位）、母性看護（46単位））

○大学院・専攻科の設置に関するアンケート結果（専門看護師課程が必要な分野）

- ・老年（75/117施設）、在宅（66）、地域（52）、感染症（34）、がん（32）、慢性（28）の順
- ・主な配置先となっている公的病院では、老年（23/24）、在宅（13）、慢性（12）の順

入学定員

(第1回、第2回検討委員会等のご意見)

- ・修学ニーズを踏まえ、近隣の充足率も参考にしながら検討

(参考) 近隣看護系大学院の学生数・充足率

(単位 人、%)

	大学名	専攻	修業年限	入学定員	収容定員A	現員数(R2.5.1)				充足率(B/A)	(参考)前年度充足率
						1年次	2年次	3年次	合計B		
国立	富山大学	看護学専攻	2年	16	32	4	23		27	84.4%	(81.3%)
国立	金沢大学	保健学専攻	2年	※1 70	140	67	71		138	98.6%	(87.1%)
国立	福井大学	看護学専攻	2年	12	24	9	18		27	112.5%	(141.7%)
国立	新潟大学(※2)	保健学専攻	2年	20	40	21	37		58	145.0%	(145.0%)
公立	石川県立看護大学	看護学専攻	2年	15	30	13	13		26	86.7%	(93.3%)
公立	福井県立大学	看護学専攻	2年	10	20	0	2		2	10.0%	(50.0%)
公立	敦賀市立看護大学	看護学専攻	2年	8	16	3	14		17	106.3%	(100.0%)
公立	新潟県立看護大学(※2)	看護学専攻	2年	15	30	18	21		39	130.0%	(130.0%)
公立	岐阜県立看護大学(※3)	看護学専攻	3年	12	36	8	12	11	31	86.1%	(86.1%)
私立	金沢医科大学	看護学専攻	2年	6	12	5	12		17	141.7%	(150.0%)

※1 金沢大学は、医療科学領域(技師等)、リハビリテーション科学領域(OT,PT等)を含む。

※2 R元.5.1 数値(R2 数値未発表)

※3 H31.4.1 数値(R2 数値未発表)

2 専攻科(保健師・助産師養成課程)

富山県立大学に専攻科を設置し、総合衛生学院が担ってきた保健師・助産師の養成機能を継承すべきである。

R2.10.19 第2回検討委員会了承意見

教育課程、入学資格、定員

(第1回、第2回検討委員会等のご意見)

- ・地域包括支援センターにおけるコーディネートや、生活習慣病予防などにおける保健師ニーズの増大
- ・総合衛生学院廃止後の保健師及び助産師の養成機能を承継する必要
- ・総合衛生学院廃止後の空白を最小限にする必要から履修期間1年間の専攻科
- ・専攻科を修了した学生が大学院で更に学びたい場合の制度設計

(参考) 総合衛生学院(保健学科、助産学科)卒業生の就業状況

(単位 人)

区分		卒業年度		H27		H28		H29		H30		R元		平均	
		計	県内	計	県内	計	県内	計	県内	計	県内	計	県内	計	県内
保健学科 (定員25人)	卒業者数	22		15		14		17		17		17.0			
	※保健師就業者数	11	6	7	3	10	8	13	9	13	9	10.8	7.0		
助産学科 (定員15人)	卒業者数	14		14		14		7		10		11.8			
	※助産師就業者数	14	9	14	8	14	9	6	4	10	10	11.6	8.0		

富山県立大学看護系大学院等設置検討委員会
今後のスケジュール(案)

時 期	回数	内 容
令和2年 9月18日	第1回	・看護系大学院の現状と課題について ・保健師、助産師養成の現状と課題について
10月19日	第2回	・大学院・専攻科設置の必要性について
12月18日	第3回	・教育課程、入学定員等の考え方について
令和3年 1月下旬 ～2月	第4回	「報告書の取りまとめ」 ・報告書(案)について、各委員の最終的な了承をいただく。